

# マナヅル

学名	Grus vipio Pallas,1811	
目名	ツル目	
目名学名	GRUIFORMES	
科名	ツル科	
科名学名	Gruidae	
カテゴリー	大分県：Ⅱ (VU)	環境省：Ⅱ (VU)



## 【選定理由】

本種の越冬地が鹿児島県出水に集中しており、越冬地を分散する必要があるといわれている。近年、宇佐平野に少数が毎年飛来するようになったので、情報不足から絶滅危惧Ⅱ類とした。

県内分布	開けた耕地, 湿地, 河原などに飛来する冬鳥。宇佐平野以外では希に一時的に立ち寄るのみ。
分布域	定期的な生息地は, 鹿児島県出水に約3000羽, 山口県熊毛町八代に約50羽が冬鳥として生息するのみで, その他は渡りの途中あるいは迷鳥。
世界的分布	中国東北部, ロシアの東南部で繁殖, 朝鮮半島, 出水, 揚子江下流で越冬。
生息環境	開けた耕地, 湿地, 河原などで越冬する。魚類や穀類, 草の根などを採食する。
現状	この15年ほど宇佐平野にほぼ毎年数羽から10数羽が飛来している。他の地域でも短期間の観察記録がある。
備考	国際自然保護連合:Ⅱ, ワシントン条約附属書I, 国際希少野生動植物種, 希少鳥獣。